

運営会議 (旧 まちの課題整理プロジェクトチーム) における
課題整理状況
(第30回 全体会 資料)

2018/5/22

分冊⑤

【精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム】

【身体障がい者・知的障がい者
地域生活移行推進プロジェクトチーム】

No.	事例、問題提起、困りごと	課題
例	<p>誰が何を困っているのか？</p> <p>〇〇が〇〇</p> <p>〇〇という事例</p>	<p>〇〇という課題がある</p> <p>〇〇が必要</p>
35	<p>〇一人暮らしの不安</p> <p>これから一人暮らしを始めようとする人たちが持つ不安に 対してどのように支援をしてゆくのか。長い間、入所施設や 親元で暮らしていた障がい者が、これまで経験したことのな い一人暮らしを始めようとする際、少なからず不安を覚える であろうことは想像に難くない。特にその日常生活にさまざま な支援を必要とする障がい者の場合はなおさらである。</p> <p>1か月程度の「宿泊体験プログラム」への助成制度や、家具 設備があり保証人不要の短期賃貸マンションを活用したア パート生活の体験入所支援等を実施しているところもある。</p> <p>「地域生活の体験」に向けての支援が、障がい者のみなら ず、その家族の不安を軽減することに役立つと思われる。(東 区18)</p>	<p>一人暮らしを始める人たちの不安を解消する仕組 みについて検討する。</p>

<p>運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての 見解</p>	<p>結果</p>	
<p>誰が 何を いつ どのように</p>	<p>運営会議 (旧まちの課題整理 プロジェクトチーム) の見解 を受けた結果、〇〇部会によ る結果や協議会での議論の結 果などを記載し、全体で共有 する。</p>	<p>カテゴリ</p>
<p>【課題整理済】 住まいに関するプロジェクトチームで検討。及び、運営会議で検討中 の身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームが できたらそちらでも検討をすることにする。</p> <p>※住まいに関するプロジェクトチーム (平成29年6月22日) 運営会議から上がってきたこの課題について共有。今後プロジェクト で検討していく課題として共有する。</p>		<p>主：住ま い</p>

No.	事例、問題提起、困りごと	課題
例	<p>誰が何を困っているのか？ 〇〇が〇〇 〇〇という事例</p>	<p>〇〇という課題がある 〇〇が必要</p>
91	<p>医療保護入院者退院支援委員会への相談支援事業者の出席を円滑にするための措置について 平成26年4月1日の精神保健福祉法改正で、精神科病院では、医療保護入院者・家族から希望があった場合等、退院後に利用する障がい福祉サービス等について退院前から相談に応じ、必要な情報提供等を行う相談支援事業所等の紹介に努めることが義務付けられた。 また、相談支援事業所等は、相談援助を行っている、あるいは行うとする医療保護入院者に係る退院支援委員会への出席の要請があった場合には、できる限り出席して退院に向けた情報共有に努めることとされている。 しかし、現実には香雪病院、あしりべつ病院の独自調査で医療保護入院者退院支援委員会への地域援助事業者の出席率は2%しかない。 個人情報等の問題もあり個別ケースは出さないが、環境整備が課題と考える。 【こころのチームの意見】 ・制度の形がい化が危惧される状況である。 ・他の自治体では、相談支援事業所等の地域援助事業者が参加しやすい環境を作るために、地域援助事業者に対して交通費を支出する補助金が制度化されている実例がある。 ・相模原の入所施設での事件を受けて、措置入院での退院支援委員会も議論されている。 ・札幌市に予算措置を要望したい。 【事務局会議の意見】 ・相談支援事業所が不足して相談員が多忙な状態にあることが本質的な課題ではないか。 ・地域援助事業者は介護分野も含まれ、相談支援事業所だけの課題ではない。 ・北海道と札幌市、障がいと高齢にまたがる課題で、行政としては対応部署がどこなのかが課題。 ・協議会では、要望という形より課題という形の検討が望ましい。 ・予算措置のためには、次期障がい者プランの検討に間に合うタイミングが望ましい。【清田区】</p>	<p>【課題】医療保護入院者退院支援会への相談支援事業者の出席を円滑にするための措置について 【取組提案】 相談支援事業所等の地域援助事業者が参加しやすい環境を作るために、地域援助事業者に対して交通費を支出する補助金の創設について、別添の提案を協議会に提出する。 ※別紙有</p>

<p>運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての 見解</p>	<p>結果</p>	
<p>誰が 何を いつ どのように</p>	<p>運営会議 (旧まちの課題整理 プロジェクトチーム) の見解 を受けた結果、〇〇部会によ る結果や協議会での議論の結 果などを記載し、全体で共有 する。</p>	<p>カテゴリ</p>
<p>【課題整理済】 退院支援委員会以外でも、ケース会議には無報酬で参加している。むし ろ、医療部局からの施策提案の方が良いのではないか。 精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームで、地域移行定着の 取組が課題にあがっている。精神障がい者地域生活移行推進プロジェク トチームで共有し検討。 ※審議会で、精神に特化した地域包括ケアについて提案あった。障が い者プランの見直しに反映と、他障がいと差が生まれないように。</p>		<p>主：医療</p>

No.	事例、問題提起、困りごと	課題
例	<p>誰が何を困っているのか？</p> <p>〇〇が〇〇</p> <p>〇〇という事例</p>	<p>〇〇という課題がある</p> <p>〇〇が必要</p>
69	<p>札幌市内、近郊で受け入れてもらえる入所施設が見つけれない。(相談)</p> <p>※個別ケースのため詳細は記載しません。</p>	<p>入所できる施設が見つけれない</p> <p>入所施設を効果的に活用するための利用者の循環システムが必要では？地域に出られる人は出し、地域では難しい人を一定期間施設で見っていくという流れが作れたら助かるが・・・。</p>
75	<p>平成24年から、「地域相談支援給付」が始まり、これまで精神障害領域では主治医からの推薦などで地域移行対象者を決定していた仕組みから、本人が行政の窓口で「地域移行支援」の申請を行い支給決定がされれば、地域移行の対象となることになった。</p> <p>ただ、地域移行支援の利用者は増えることなく、長期に入院している精神障害者のうち約半数が65歳を越えて、死亡退院も少なくない。</p> <p>精神科病床から地域へ生活の場を移したいと希望する方の想いの実現や、退院を自己決定できるための支援があれば地域移行したいと希望する方への専門領域を越えたアプローチが必要。</p> <p>精神障害以外の領域でも、地域移行に向けた取り組みが必要。(相談)</p>	<p>地域移行支援</p> <p>厚生労働省が示している資料を参考に、「地域移行部会」などを設置し、地域移行推進のために専門領域を越えた協議、検討を行っていく。</p>

<p>運営会議 (旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての 見解</p>	<p>結果</p>	
<p>誰が 何を いつ どのように</p>	<p>運営会議 (旧まちの課題整理 プロジェクトチーム) の見解 を受けた結果、〇〇部会によ る結果や協議会での議論の結 果などを記載し、全体で共有 する。</p>	<p>カテゴリ</p>
<p>【課題整理中】 触法ケースは、障害だけの問題でない。司法は、障害福祉に依頼して くる。入所施設だと、受入は定員がいっぱい。触法ケースについては、 発達障がい者支援手法開発会議にお願いしてもよいのではないか。 入所施設からグループホームに移行しても、高齢になって施設に戻る ことがあるので、介護保険に繋がることも必要。地域での受け皿が無い から、入所施設が必要になる。入所施設からの地域移行について、今後 の取組をどのようにするか。次年度はアセスメントから実施したい。</p> <p>身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム設 置。</p>		<p>主：社会 資源</p>
<p>【課題整理済】 精神科病院からの地域移行についてのプロジェクト設置を全体会に提案 し、精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームを設置。</p> <p>入所施設からの地域移行課題残る ⇒身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム設 置</p>		